

米軍HH-60 ヘリコプター墜落事故に抗議し、オスプレイの全機撤収を求める意見書

8月5日午後4時ごろ、宜野座村の米海兵隊演習場キャンプ・ハンセン内で、米軍嘉手納基地所属HH-60ヘリコプター機の墜落炎上事故が発生した。

事故現場は、大川ダムの隣であり、周辺には沖縄自動車道や宜野座村落が存在し、一歩間違えば大惨事につながるものとして、県民の大きな不安と怒りが広がっている。

沖縄県の本土復帰後、これまで44機の米軍機墜落事故が発生しているが、平成16年8月のCH53D大型輸送ヘリコプター墜落炎上事故や本年5月28日のF-15戦闘機墜落事故などが相次いでいる。

そして、今回の事故は、墜落の危険性が指摘されているMV22オスプレイの強行追加配備に対する県民の怒りが高まっているさなかに起こった事故である。

よって本市議会は、繰り返される米軍機の墜落事故やオスプレイ配備は、県民の生命と財産を脅かすものであり強い怒りを表明し厳重に抗議する。

その上で下記の事項が速やかに実現されるように要請する。

記

- 1 墜落した同機種 of 訓練や運用を即時中止し、すべての米軍機の安全点検を実施すること。
- 2 事故原因の徹底究明と再発防止策を講じると同時に、墜落現場や周辺 of 環境汚染及び水質調査の徹底と速やかな情報公開を実施すること。
- 3 沖縄からオスプレイを全機撤収すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成25年8月19日

糸 満 市 議 会

意見書宛先：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

米軍HH-60ヘリコプター墜落事故に抗議し、オスプレイの全機撤収を求める決議

8月5日午後4時ごろ、宜野座村の米海兵隊演習場キャンプ・ハンセン内で、米軍嘉手納基地所属HH-60ヘリコプター機の墜落炎上事故が発生した。

事故現場は、大川ダムの隣であり、周辺には沖縄自動車道や宜野座村落が存在し、一歩間違えば大惨事につながるものとして、県民の大きな不安と怒りが広がっている。

沖縄県の本土復帰後、これまで44機の米軍機墜落事故が発生しているが、平成16年8月のCH53D大型輸送ヘリコプター墜落炎上事故や本年5月28日のF-15戦闘機墜落事故などが相次いでいる。

そして、今回の事故は、墜落の危険性が指摘されているMV22オスプレイの強行追加配備に対する県民の怒りが高まっているさなかに起こった事故である。

よって本市議会は、繰り返される米軍機の墜落事故やオスプレイ配備は、県民の生命と財産を脅かすものであり強い怒りを表明し厳重に抗議する。

その上で下記の事項が速やかに実現されるように要請する。

記

- 1 墜落した同機種の訓練や運用を即時中止し、すべての米軍機の安全点検を実施すること。
- 2 事故原因の徹底究明と再発防止策を講じると同時に、墜落現場や周辺的环境汚染及び水質調査の徹底と速やかな情報公開を実施すること。
- 3 沖縄からオスプレイを全機撤収すること。

上記のとおり決議する。

平成25年8月19日

糸 満 市 議 会

決議文提出先：駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事、第18航空団司令官